

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 桜井市社会福祉協議会 児童発達支援事業所 クローバー学園		公表日 2025年 3月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		・子どもの様子に応じて、関りを工夫しなければいけないと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・写真や絵カード、音楽を使って、わかりやすいように工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・空気清浄機や空間除菌脱臭機を設置しています。また6ヶ月に1度、床を全面掃除したり、1ヶ月に1度エアコンのフィルター掃除を行っています。 ・電気関連は触れないようにしたり、窓で手を挟んだりしないように安全面への配慮を心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・子どもの様子に合わせて、個室を利用できるようにしています。 ・クールダウンできる個室の部屋があります。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・スタッフ間で振り返りをするように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		・6ヶ月に1度個別面談と年度末にアンケートを取り、よりよい支援を提供できるように心掛けています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・今年度も研修に参加しました。	・研修に参加できる機会が少ない現状ではありますが、調整しながら研修に参加していきたいと思っています。
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・個別面談時に、保護者からニーズや願いを聞き取り、そこから個別支援計画書を作成するようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・スタッフ間で子どもの様子を共通理解しながら、個別支援計画を作成するようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		・ガイドラインを見直ししながら、適切な支援を行えるようにしていきます。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		・過去のプログラムを見直し、また保護者からのアンケートを参考にしながら、日々のプログラムを計画しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		・毎日通園の子どもについては、必要に応じて個別指導を取り入れ、子どもの様子に合わせた支援を提供しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		・活動前に、スタッフ間で打ち合わせを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		・活動後は、気づいたことをスタッフ間で情報共有できるように話し合いをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		・活動の様子を記録し、よりよい支援を提供できるようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		・6ヶ月に1度、保護者との個別面談を実施しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		・必要に応じて、市の子育て支援課とケース会議を行い情報共有を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		・必要に応じて、市内の保育関連施設と情報共有を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		・必要に応じて、就学先の学校に情報提供を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				・送迎時に子どもの様子を聞くように心掛けています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		・毎日通園の子どもを対象に、市内の保育所へ一緒に見学させていただいています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		・連絡ノートや送迎時、面談時に、子どもの様子をお話させていただいています。また日々の記録がわかりやすいように、写真を使って教材等を保護者に知らせる工夫をしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		・ペアレントトレーニングとしては実施していませんが、家族等が参加していただける研修等がありましたら、掲示するようにしていきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・見学時や契約時に丁寧な説明を心掛けていますが、ご不明な点がございましたらいつでもお声掛けください。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・6ヶ月に1度、個別面談を実施しています。またご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。 ・日頃から、保護者に心配事や日常等の話を聞き、共感・助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		・保護者会はありません。今年度も手をつなぐ育成会さんとの交流会を実施することができませんでした。 ・毎日通園の子どもを対象に、月に1度保護者交流会の機会がありますが、併行通園の子ども対象には実施できていません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談等の申し入れには、いつでも対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・月に1度おたよりを配布しています。また当日の記録は、連絡ノートに記入しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・様子に合わせて、視覚的支援を使い意思疎通を図っています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・地域住民を招待するような活動は行っていません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		・感染症についての対応を手紙で配布・掲示させていただいています。非常時のマニュアルはスタッフ間で再確認を行います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4		・建物全体の避難訓練に参加し、災害時の対策を話し合っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・保護者から聞き取りを行い、個別面談時にも再確認するように心掛けています。 ・利用契約の際に、保護者に記入してもらうようにし、定期的に確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・保護者から聞き取りをし、アレルギーのある子どもの一覧表を作成・掲示しています。また材料等を使用する前に、成分表の確認を行うようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・事例が起きたときは、スタッフ間で情報共有するようにし、再発防止のため記録するようにもしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・子どもの特性を知り、適切な関わり方ができているか、スタッフ間で話し合うように心掛けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・身体拘束しなければならない事例は、現在発生していないと思われれます。		